

— 目 次 —

- 新しいふるさとづくりを……………8
「新知事に抱負を聞く」座談会

出席者	農 業・米ヶ田 研 男
	勤 労 者・山 本 一 弥
	中小企業・大 滝 克 治
	主 婦・福 成 桂 子
	知 事・沢 田 一 精

- 栽培化への道……………26
—増養殖推進事業から—

- 昭和五十年年度当初予算概要……………31

- <この人と30分>
私立盲学校経営者 今村幾太……………33

- 熊本の経済……………河瀬豊……………36
—高速交通体系の整備と本県工業—

- わが町わが村…<玉名郡長洲町>……………25

- グラビアページ
 - ・<ふるさと心の心>菊池神社……………3
 - ・地域住民の声を聴く……………17
 - ・活力ある緑の産業を築く……………18
 - ・カラー熊本……………20
 - ・風土に根ざした文化伝統を大切に……………22
 - ・盲人に愛の光を……………37
 - ・美しい熊本づくり……………38

随 想 欄
永田説子 山本捨三 光岡明

表紙は「とうきび人形」——阿蘇郡一の宮町——
この人形の生命はその姿、形もさることながら、素材の持つ美しさにあります。



▲木立ちの中の社殿



▲城山から市内を望む



▲裏境内の閑静なたたずまい

「菊池神社」

菊池神社は、菊池一族居城の城跡にある。そしてそれは、麻のごとく乱れた激動の時代に、菊池氏累世二十四代およそ四百六十年あまり、みずから信ずるところにしがたつて生きた歴代の名将たちに対する、地元の人たちの敬愛のシンボルである。

現在の社殿付近が菊池城の本丸跡だが、この社殿を中心に月見殿址、孔子堂跡、内裏尾菊池諸公の墓所、そして外敵侵入の監視と防ぎよの砦、いわゆる「菊池十八外城」など、南北朝時代に土道、文教の中心となった菊池一族の由緒ある史蹟が数多く見られる。

神社の設立は明治三年四月二十八日、そして同十一年一月十日、別格官幣社に列せられた。

菊池神社の祭神は、第十二代武時、第十三代その子武重、そして第十五代その弟武光の三公である。「袖ヶ浦の別れ」の武時、「菊池家憲と千本槍」の武重、「征西府」を定めた武光を主神とし、その他一族のつわもの、二十六人が配祀されている。

この菊池神社のある城山一帯は、春を迎えると、全山をいろどる一万余の吉野ざくらとつつじが研をきそい、春色をめぐる人波はつきることがない。近年、地元有志の手で植樹活動がさかになり、菊池温泉とともに、県下随一の花の名所として盛名をはせている。

この城山は都市公園として整備事業が進められており、春秋二回の神社例祭には、緑と紅葉の中で憩う老若男女でにぎわう。周辺には、戦没者慰霊の「平和塔」攝社「城山神社」別宮「雲上宮」、神社が併設する「菊池歴史館」とともに、文字どおり「菊池文教と史蹟」のメッカとして、訪れる観光客の目を樂しませる。

五世紀にわたる菊池一族の栄枯盛衰を語るこの菊池神社とその周辺の景観は、そのまま「ふるさと心の心」として今も地元の人々の「やすらぎの場所」になっているのである。

(菊池市)